

学校へのデジタル教科書の導入に係る課題に関する教科書発行者の意見について

導入方法（アカウント発行・ライセンス管理）について

- ・ユーザー設定作業が学校現場では慣れない作業となったため、問合せなどから作業が難航している様子が伺えた。ユーザー設定のための統一フォーマットができればよいのではないか。
- ・デジタル教科書へのログイン、利用のための登録について、操作が難しいとする学校がある。各教科等のデジタル教科書使用のための方法を、各社でできるだけ揃えるとよいのではないか。
- ・初期設定では各校で児童生徒分のユーザー情報登録を実施いただく必要があるが、CSV ファイルでの登録としたため、CSV ファイルのデータ作成が現場の先生には難しいようだった。例えば、学校に対しての一斉研修（教科別、発行者別、ビューア別等）ができれば、個別対応の件数を減らすことができたのではないか。
- ・ビューアごとに導入方法が微妙に異なる上に、学習者用についても教科の教員がアカウントの設定をしようとするため、ビューア単位でアカウントがバラバラになる。
- ・アカウント登録方法などが出版社により様々であるため、学校現場で困惑がある。また、端末の種類の違い、自治体・学校のセキュリティにより登録のできない環境が出てしまう。登録作業について、教育委員会で行ったり、ICT 支援員などを活用したりして行うことも考えられるのではないか。
- ・セットアップについては、利用者登録とシリアルコード割当など作業があるが、デジタルが不慣れな先生方にとっては使用開始までのハードルが非常に高い印象を持たれてしまった。
- ・現状、端末整備、ネットワーク整備から日が浅かったり、整備途上だったりする中であるため、初めての導入設定作業となった学校が多数あった。しかし、デジタル教科書の使用にはどのような設定が必要になるのか、それほど専門知識が無くてもできるのだということを体験できる有益な機会になっている。まだデジタル教科書を使用したことのない学校や、より多くの先生方に、使用する機会を広げていくことが有益だと考える。
- ・児童生徒の ID の作成ルール、管理ルール、履歴データの管理ルール等が、学校や自治体によって異なるため、複数の問合せ対応等を行った。国において、児童生徒の ID や履歴データの管理に関して、一定の方向性が示されるとよいと考える。